
理学療法は、当然のことながら時代の社会情勢や国民のニーズと密接に関連し、主体となる対象や治療の方法も変化しています。今月号の特集のキーワードである“救急医療”は、昭和48年から51年頃に国の施策の一環として誕生・発展してきた分野の1つです。昭和48年は難病対策要綱が策定された年でもあり、一方では交通外傷等による救命救急医療の充実が、他方では慢性進行性疾患に対する長期療養生活の充実が望まれていたようです。現在ではいろいろな分野で、両極化(2極化)と再統合(再構築)が叫ばれていますが、このこと自体は両極がともに発展した証ともいえるのでしょうか。両極には共通した本質が存在している場合が多く、各自が歴史的な変遷を眺めて自身の知識・技術を再統合することこそ大切なことではないでしょうか。

入門講座は、「筋力と身体諸機能」が始まりました。理学療法士にとって筋力は最も身近で重要な要素の1つです。関連した特集も数多く組まれています。今回は特に身体諸機能との関連から筋力を考えていこうとしています。臨床医学が臓器別に展開されてきた現状から、理学療法も疾患別に括られている面をもっています。理学療法では、さらに障害に対する接近が積極的に模索され、これまで疾患・障害の組み合わせでそれぞれの分野が発展してきたようです。私事でありますが、つい最近、2年越しに希望していた

ヒト脳機能の非侵襲的研究に関するコースを受講する機会に恵まれました。それに集まった人は、医学(生理, 神経内科, 脳外科, 放射線, 小児, 耳鼻科), 理学, 薬学, 人間科学, 心理, 工学, 体育, 教育, 理学療法と1人として同じ領域の研究者がいない状態でした。そこで見聞きした内容はこれまでの理学療法では思いつきにくい, しかし応用できそうなヒントが数多くあることを強く感じました。よりよい理学療法を発展させるためには, まずは学際的な研鑽が不可欠だと感じています。

講座では、「理学療法における標準(値)」という極めて大きな挑戦が試みられています。これまで誰もが求めながらしかし誰かが提示してくれればよいという気持ちをご否定できません。現状では整然とした基準範囲を確定するには至りませんが、これまでの研究の整理と今後の研究・臨床の礎になればよいと考えています。今後はいろいろな意味で、多施設・多領域協同の研究を進めることが望まれます。1つの標準がよい方向に塗り替えられ、さらに先の問題点が明らかになるような道標になればこれに勝るものはないと思います。

いよいよ第13回WCPT学会の抄録締め切りです。思い切って演題を出されることで、充実した年が過ごせ、20世紀のよい思い出になることと存じます。

(内山 靖)

●編集顧問●

上	田	敏
五	味	春
津	山	一
福	屋	子
松	村	秩
横	山	巖

(五十音順，以下同じ)

(五十音順, 以下同じ)

●編輯委員●

和彦靖生明正勲春
德弥正隆雅
本藤山川橋見良尾
網安内大高鶴奈吉

●編集同人●

一男之郎夫二子博輔一剛一子子二夫男理弘子基隆治子男代夫司三勇彦昭儀
俊忠陽三哲修延喬俊伸秀光京久誠昌哲史春茂惠哲光和仁省範隆和
藤川田峯西島地山藤木藤藤口田山檉田尾間澤富村元出田田田山本橋木下本
伊今上大岡辛菊木工佐佐高高寺富富長仲長永中橋濱前牧丸丸宮諸八山山

理学療法ジャーナル

(第 32 卷 第 9 号)

1998年9月15日発行(毎月1回15日発行)

定価(本体 1,600 円+税)

(配送料 92 円)

1998 年年ぎめ予約購読料 19,200 円
(税込)
(送料弊社負担)

E-mail : ptj @ nna. so-net. or. jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp>

發行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当：長谷川・富永)

販売部直通(03)3817-5659・5660

廣告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005

廣告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1998, Printed in Japan
- ・ 本誌に掲載された著作物の複製・転載およびデータベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

R ＜日本複写権センター委託出版物・特別扱い＞

- ・本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特
別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾
を得てください。